

学校名 富山県立上市高等学校
校長氏名 角間 匡之

平成27年度学校総合評価を別紙(様式5)とともに提出します。

平成27年度 学校総合評価

6 今年度の重点課題に対する総合評価

(1)学習活動

- ・ 互見授業や授業検討会を計画的に実施し、教科指導の充実に努めている。
- ・ 外部の人材を講師として積極的に招くことで、社会性を高めるための講座が実施できた。
- ・ 153講座(科目)それぞれについて、学習のねらいや学習方法、評価方法等をシラバスで示し、進路選択の学習に活かしている。

(2)学校生活

- ・ 毎朝玄関前で、遅刻の防止、正しい服装、挨拶の慣行を呼びかけている。ねばり強く呼びかけることで、生活習慣が改善された生徒も見られる。
- ・ 服装指導は年間計画を立て定期的に行っている。女子のスカート丈を重点的に指導しているが、その場では指導に従うものの、すぐ元に戻してしまうなどの課題もある。

(3)進路支援

- ・ 1学年では「学校施設・企業見学」、2学年では「進路研修旅行」、3学年では「企業見学」「オープンキャンパス」等を通じて、進学意識や職業意識を高めている。今年度、多数の講師を外部から招き、16種類の講座から選択し、親子で参加できる進路ガイダンスを実施し、生徒の満足度は高かった。
- ・ 就職希望者が増加傾向にある。事業所訪問や応募前見学に参加するよう指導を徹底したい。
- ・ 遅くまで利用できる同窓会館を活用することで、進学希望者への直前指導がより丁寧に実施できた。

(4)特別活動

- ・ 地域の商店街と連携し、ショッピングセンター内で「上高ぷら文化祭」を実施することで、生徒の活動を町民の方々に知ってもらうことができた。この地域交流活動をさらに発展させ、文化部の活動や生徒会活動の活性化につなげていきたい。

7 次年度に向けての課題と方策

(1)学習活動

- ・ 学びの質の転換に向け、生徒の実態を踏まえながら、本校に適したアクティブラーニングの実践について、研修を重ねる必要がある。
- ・ 学習意欲を高めるとともに、基礎学力を定着させる指導法の工夫や教材開発に努める必要がある。
- ・ 授業に集中できない生徒への特別な支援方法の開発が必要である。

(2)学校生活

- ・ 保護者の理解と協力を得ながら、基本的な生活習慣や生活態度を身につけさせる。
- ・ 効果的な服装指導の在り方を継続して検討する。
- ・ スクールカウンセラーとの連携を強化し、教育相談機能の充実に努める。

(3)進路支援

- ・ 外部人材の活用を継続し、多様な進路希望を持つ生徒への指導を充実させる。
- ・ 進路指導部、学年、教科間の連携を強化し、生徒の実績や状況に応じた進路指導を継続する。

(4)特別活動

- ・ 地域との連携やボランティア活動を中心に放課後活動の充実に努める。
- ・ 指導者の指導力の充実に努め、部活動の活性化を図る。